

東北・関東大震災への文化的支援を考える

2011年4月5日(火) 18:30～ ギャラリー島田にて

■アートによる支援の時期

救援期、復旧期、復興期

■アートによる支援の場

被災三県、避難されてきた方を対象として

■支援の方法

募金による、何処に？、アートによる、何処で？、経験の継承、何処へ？

■募金の受け皿

赤十字共同募金、義援金配分委員会、市町村、被災者、日本財団、阪神大震災の時のコミュニティー基金、NPO ネットワーク、認定NPO「市民活動センター神戸」(別紙)、公益財団法人「神戸文化支援基金」アート支援東北関東大震災 芸術文化による復興支援ファンド(企業メセナ協議会)

・寄付の考え方・

全国からいろんな形で義捐金が集まっているのは心強いかもしれませんが、昨今の風潮として大規模・有名団体にお金が集まりやすいような気もしています。それにめぐらずに？ローカルなNPOの役割の重要性を訴え、この核にあるスタッフ・ボランティアの方々をきっちりと支えていくことが、阪神淡路大震災を経験した私たちの役目ではないでしょうか。 広島大学 金谷道子さんから

■支援のネットワーク

- ・東日本巨大地震被災者支援ひょうご市民ネット(神戸復興塾)「311shien」ネット
- ・被災地支援 NPO ネットワーク(市民活動センター神戸)
- ・「東日本大震災支援全国ネットワーク」 <http://www.jpn-civil.net/>
- ・<http://arts-fukkou.blogspot.com/>
- ・Art's NPO Link <http://arts-npo.org/artnpo.html>
- ・子ども学び支援ポータルサイト(文部科学省) 支援の提案 支援の要請 <http://manabishien.mext.go.jp/>
- ・ACT FOR JAPAN アーティスト、クリエイターによる被災地のためのチャリティー支援団体です。詳細は Facebook ページから

「アート・エイド・東北」

- 被災地のことは被災されたみなさんが中心に東北固有の文化的風土の尊重
- 公的な場や組織には、すぐには動けない、その機能を担う
- 支援金の受け皿としての「文化復興基金」を立ち上げるジャンルに偏らず 地域に偏らず ニュートラルな立場で
- 迅速な決定と処理が可能であること
- そこがニーズを出し、全国のアーティストが支える

仙台を拠点にしてゆるやかなアート・ネットワークをつくる

アート・エイド・東北

■支援拠点候補

・福島県 郡山市「東北のウィーン」 ・宮城県 仙台市 本部 ・岩手県 陸前高田市

■仙台文化団体(詳細は別資料で)

仙台市市民文化事業団、仙台市戦災復興記念館ホール、宮城県芸術協会、仙台中央音楽センター、宮城県文化振興財団、SENDAI NPO 法人オハイエ・プロダクツ 一般社団法人 MMIX Lab (ミックスラボ) 980-0802 仙台市青葉区二日町 6-6-201 代表: 村上タカシ (MURAKAMI Takashi) MMIX Lab は公益性のある芸術文化活動を行う仙台宮城の社団法人としてまちづくり、子ども支援、福祉、環境、就労支援等のNPOや自治体などとも連携した復興支援活動を行います。 <http://mmix.org> (緊急支援) 仙台にある「自遊楽校」…灰谷健次郎さんと親しい新田新一郎さんという方が主宰している“子どもの広場”のような所ですが、素晴らしい活動をしてきて、2年前には写真集も出しています。(坪谷令子さん)

【仙台市内の文化施設の状況】

- ・仙台市青年文化センター: 比較的軽い被災だが6ヶ月は使えない。
- ・イズミティ 21: 天井が落ちた。見通しが立たず。
- ・せんだいメディアテーク: 見通しが立っていない。
- ・エルパーク仙台: スプリングラー作動で再開見直し立たず。
- ・仙台市歴史民俗資料館: 見直し立たず。
- ・仙台文字館: 見直し立たず。
- ・せんだい演劇工房 10-BOX: 新しく出来た方は比較的早く再開できそう。
- ・えずこホール: こちらも再開できそう。シングルマザーなどへの対応を考えている。
- ・仙台市市民活動サポートセンター市民活動シアター: 施設は無事だが、復興支援活動のサポート拠点として9月30日まで機能する。
- ・個人の小さなスタジオや稽古場は使用可能などところがある。

【アーティストの現状】

- ・公立文化施設が使えない状況もあり、キャンセルが相次いでいる。
- ・仕事を失っている。
- ・家族や親戚、友人に少なからず被災している人がいる。
- ・若手アーティストのモチベーションはかなり高い。
- ・仙台フィルハーモニー管弦楽団: 避難所に向かいでのコンサートを計画中。 <http://www.sendaiphil.jp/news/index.html#news110328>

【セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン「こどもひろば」】

・避難所になっている学校内に子どもたちが遊べる場所を設置。現在岩手県と宮城県を中心に9ヶ所で活動中。拡大を目指している。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのスタッフが設置の交渉などを行い、その後研修を受けた現地スタッフが運営していく。みやぎこどもネットワーク(児童館運営など、セーブの受け入れにも関わっている。) <http://miyagi-kodomo.net/>

【はじまっている活動】

- ・第1回「東北復興のための舞台人会議(仮)」2010.03.29(火)17時～ 3月31日に2回目 前回、避難所で何かをするという意見が多かったため、その可能性をNPOセンター職員に聞いてみたところ「時期尚早。現場はまだ文化や芸術のようなものを受け入れる雰囲気ではない」との回答あり。リサーチするにも600箇所以上ある避難所を回ってリサーチする力は我々にもまだない。 <http://www.morigekisai.com/revival/>
- ・公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団 寄付の募集、資金援助、アーティストのボランティアでの参加呼びかけ、仙台市内の街かど、被災地でのコンサートを数多く開催。

■はじまっている文化による支援活動の実例

チャリティーコンサート

- 3月15日 アート・サポートセンター神戸 多文化共生ワークショップ 無料 募金箱 90,098円+50,000円+24,822円=164,920円 被災地NGO協働センターへ寄付
- 3月17日 「いま、いるところ」旧グッゲンハイム邸 76名参加 76,000+44,000=120,000を、みちのこ応援隊へ
- 3月20日 「ぐっさんが見たアフガニスタン」写真展と地震募金 旧グッゲンハイム邸
- 3月23日 チキン・ジョーザイフ¥2000 日本赤十字へ 中村よう ワクン 井上よう子他多数 62万5902円
- 3月25日(金)午後7時開演(午後6時半開場)チャリティー・コンサート 佐用町と神戸 神戸新聞松方ホール 上田益氏とレイクエムプロジェクト実行委員会 入場無料 募金
- 3月27日 ザクセン声楽アンサンブル、チャリティーコンサートで、ヨハネ受難曲を演奏。チャリティーの義捐金を神戸経由で被災地の文化支援に。ザクセン声楽アンサンブル⇒神戸文化支援基金⇒アート・エイド・東北の活動公募⇒審査会議⇒活動団体への支援
- 3月28日(月)16:00～21:00「また会えたね」～震災・原発、仙台からここへ～ 旧グッゲンハイム邸 無料/会場にてカンパ 福島原子力発電所が事故で小さな子供を抱える親達が被災地から関西以西へと避難してきました。そこで被災した親子達が一度集まってそれぞれの心境を語り合う場をつくりたいと思いました。子供たちには子供同士で思いっきり遊ぶ時間を用意して、おいしいものを食べてもらう。子供達は海の見える二階で絵本の読み聞かせや、お絵描き、トランプ、楽器遊び。外でかけっこ、鬼ごっこ、縄跳びなどをして遊びます。
- 4月17日(日) 東北地方太平洋沖地震・被災地の子どもたちを支援するコンサート 緊急企画「シルクロードからのウイグルの風」会場:山村サロン JR芦屋駅前 ラポルテ本館 3階 開演17:30 参加費:無料 ※支援募金制 「NPO法人子育てひろば全国連絡協議会」が運営する「東北関東大震災・子ども子育て義援金」へ寄付。主催: NPO法人ヒューマン・ビジョンの会 協賛:山村サロン、株式会社ソーキ 後援: NPO法人あしやNPOセンター、エマージェンティックス・ジャパン
- 4月23日(土) アンサンブル・神戸 神戸新聞松方ホール 15:00～ 無料(往復はがき) 着席700名 маты受難曲抜粋 指揮 矢野正浩 募金箱
- 5月7日(18時間限定)演者 舞子ピラあじさいホール 出演者は、遠藤真理(チェロ) 三浦友理枝(ピアノ) 主催:神戸国際芸術祭実行委員会・アートサポートセンター神戸・1000人のチェロコンサート 入場料¥2000 出演者はボランティア 諸経費を引いた全額を寄付(目標50万円) 約300席 満席をめざす。企画・運営:神戸大アートマネジメント研究会
- 「神戸新聞地音楽祭」(5月開催)を、被災地支援にもなる企画として実施 神戸で最大の集客を誇る音楽祭を主催する団体として、運営で生まれた余剰金はすべて被災地支援のために寄付をします。また、参加・来場される方々にも寄付を呼びかけます。加えて、当日2日間、地区内店舗協力店においてチャリティー企画への協力を呼び掛け、パンフレットを作成・配布します。
- 6月25日 神戸新聞松方ホール 15:00 「フランティエック・ノボトニー&伊藤ルミ デュオリサイタル」 4000円を3500円で手分けして販売。うち2000円が寄付。(ぼたんの会方式=目標100枚 20万円以上)

チャリティー美術展

- ギャラリー島田 一石を投じる展・・・ 売上げの1割を被災地NGO協働センターへ
- ギャラリー島田+有志ギャラリーで 8月19日～22日 売上げの全額を寄付(目標200万円)
- ギャラリー夢創館 田中美術 川田画廊 他

文化による支援の実例 つづき

■その他

- ①「竹下景子 詩の朗読とコンサート」 これを「アート・エイド・東北」実行委員会が主催し、2012年3月11日(日)に今回の被災地で開催してはどうか
- ②「石井一男展」を東北で巡回開催(販売はしない展覧会として)
- ③「みちのくアート・ウィーク・in KOBE」
- ④宝塚市のNPO 被災転居者の子どもに対してガールスカウトの「何かしたい!」の提案をセンターがコーディネートし幼児向けの「ウェルカムバック」を作成しました。中身はクレヨン・画用紙・折り紙・小さなおもちゃ etc. 手作りバックに詰め、市営住宅の鍵渡し時に市の担当部署から渡してもらいます。
- ⑤ストリート・ダンス・スタジオ協会のURLです。 <http://www.st-dance.com/index.html> キャラバン組んで被災地の小学校を回りたい、一緒に出来ることあればぜひお知らせください。三谷真さん
- ⑥「読み聞かせ隊」の派遣 ボプラ社 避難所からの申し込みを受付中
- ⑦「被災地の子育て支援拠点を中心とした子ども・子育て家庭支援団体へ限定した義援金」として、「NPO法人子育てひろば全国連絡協議会」が運営する「東北関東大震災・子ども子育て義援金」へ寄付。
- ⑧NPO 法人ダンスボックス(2010年度の国際交流基金地球市民賞) 募金口座開設 様々な支援公演
- ⑨神戸市によるパートナーシップ活動助成・緊急募集。 ■対象団体 企画した活動を遂行できる専門性が高く、被災地における支援活動の経験がある団体で、神戸市内に活動拠点があるもの。 ■対象活動 東北地方太平洋沖地震の被害を受けた地域(災害救助法適用地域)で市民団体が自ら企画・提案、実施する活動で、阪神・淡路大震災の教訓を活かし、被災地における市民生活の課題を具体的に解決する活動 ■助成額・・・1件当たり50万円を上限(助成総額500万円) ■活動の対象期間・・・平成23年3月11日(金曜)～平成23年6月30日(木曜) ■申請受付・提出場所 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館24階 TEL:078-321-3921 FAX:078-322-6037 E-Mail: plat@office.city.kobe.lg.jp

【神戸から現地に入っているNGO】

被災地NGO協働センター

- ・東北地方でのボランティア活動(避難所運営・ボランティア拠点立上げ)の資金を募集しています。
- ・宮崎から東北へ、支援の輪を～「野菜サポーター」を募集しています。
- ・「粉ミルクを届けようプロジェクト」、アレルギー用粉ミルクとカンパを募集しています。
- ・岩手県大槌町・仮設診療所建設(AMDAへの協力)への募金を呼びかけています。 振込口座:郵便振替01180-6-68556 口座名義:被災地NGO協働センター 通信欄に、支援事業名をお書き下さい。